### sentry-logger-connect

セントリーの特定ロガーで収集されたログをログプレッソ・ソナーサーバーへ送信するように設定します。

#### 構文

sentry-logger-connect [timeout=INT]

オプションパラメータ

**timeout=INT**

秒単位のRPCタイムアウト（デフォルト: 30秒）

#### 説明

本コマンドは、セントリー識別子（guid）およびロガー名（name）を入力レコードとして受け取り、指定されたロガーで収集されたデータをログプレッソ・ソナーサーバーへ送信するよう、セントリーに対して非同期RPCメッセージを送信します。

ログプレッソ環境変数 logpresso.core.sentry\_rpc\_parallel は、非同期RPCリクエストメッセージキューの長さを指定します。この環境変数のデフォルト値は 100 であり、値を変更することで非同期RPCリクエストキューの長さを調整できます。

RPCリクエストメッセージキューは、先入れ先出し（FIFO: First In, First Out）方式で動作します。例えば、ログプレッソ・ソナーサーバーがメッセージを送信するセントリーが150台ある場合、サーバーはまず100台のセントリーにRPCメッセージを送信し、RPC応答を待機します。この際、待機時間が timeout で指定された時間（デフォルトは30秒）を超えると、該当セントリーからエラーが発生したものと見なします。100台のセントリーのうち32台が応答またはタイムアウトした場合、追加で32台のセントリーにRPCメッセージを送信します。

本コマンドは、セントリーからのRPC応答メッセージを受信した順に結果を出力するため、出力レコードの順序は入力レコードの順序と異なる場合があります。レコードの順序に依存せず、出力データ自体を利用してください。

入力フィールド

本コマンドは、入力レコードに guid および name フィールド値が必要です。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| フィールド | 型 | 説明 |
| guid | 文字列 | セントリー固有識別子（JavaのGUID形式とは無関係） |
| name | 文字列 | セントリー名前空間内で一意なロガー識別子 |

出力フィールド

本コマンドは、エラーが発生した場合、元のレコードに \_error フィールドを追加して出力します。発生し得るエラーは以下の通りです：

|  |  |
| --- | --- |
| エラーメッセージ | 意味 |
| guid is null | 入力レコードの guid フィールド値が null |
| guid should be string | 入力レコードの guid フィールド値が文字列でない |
| guid should be non empty string | 入力レコードの guid フィールド値が空文字列である |
| name should be not null | 入力レコードの name フィールド値が null |
| name should be string | 入力レコードの name フィールド値が文字列でない |
| name should be non empty string | 入力レコードの name フィールド値が空文字列である |
| timeout | RPCリクエストのタイムアウト時間を超過 |
| disconnected | RPCリクエスト処理中に接続が切断された |
| not connected | セントリーが接続状態でない |

上記以外にも、セントリーがインストールされたシステムの状態により、他のRPC例外メッセージが出力される場合があります。

#### 使用例

接続されている全てのLinuxセントリーに対してwtmpロガーを作成し、ログをリモート送信するように設定します。

sentry| search os == "Linux" and is\_connected| eval name = "wtmp\_linux"| eval factory\_name = "wtmp"| eval configs = dict("path", "/var/log/wtmp", "server", "linux", "dst\_ip", remote\_ip)| fields guid, name, factory\_name, configs| sentry-logger-create| sentry-logger-connect